



新年おめでとうございます

昨年は、収入不足による図書館運営を改善するため、一般の方に支援を呼びかける試みをいたしました。

インターネットによる支援募集であるクラウドファンディングに挑戦し、お陰さまで多くの方の賛同を得て目標額を達成することができました。

このことにより、支援金が集まったばかりでなく、当館の存在を多くの方に知っていただき、その上、この演劇と映画の専門図書館は社会に必要な図書館だと認めていただけたことは、大変ありがたいことでした。

皆様のご支援の上に図書館事業が成り立っていることをしっかりと受け止めて、事業を縮小することなく、さらに役立つ図書館となりますよう、今年も職員一同研鑽を積んでまいります。

何卒、昨年にも増して、当館にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

松竹大谷図書館 職員一同



書庫の入り口の正月飾り

お知らせ

平成24年度第41回大谷竹次郎賞は、対象となる新作歌舞伎及び舞踊作品が製作されなかったため、該当作品無しとなりました。

大谷竹次郎賞は、その年の1月から12月に各劇場の公演において歌舞伎俳優によって演じられた新作歌舞伎および新作歌舞伎舞踊の脚本のなかで優れた作品に贈られる賞です。

新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

松竹系 12月演劇公演資料

..... 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『通し狂言 御撰勸進帳』	○	○	○	○
	『籠釣瓶花街酔醒』	○	○		
	『奴道成寺』	○	○		
	舟木一夫シアターコンサートin新橋演舞場				
日生劇場	『日本橋』	○		○	○
南座(京都)	『佐々木高綱』	○		○	○
	『梶原平三誉石切』	○			
	『寿曾我対面』	○			
	『廓文章 吉田屋』	○			
	『仮名手本忠臣蔵 五段目・六段目』	○			
	『六代目中村勘九郎襲名披露口上』				
	『船弁慶』	○			
『関取千両幟』	○				
松竹座(大阪)	関西ジャニーズJr. masコンサート2012				
地方巡業	『歌舞伎の世界で遊ぼう』			○	
	『勸進帳』より「滝流し」				
	『雨の五郎』				
	『鷺娘』				

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

映画資料

..... 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『大奥～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇]』					

映画プログラム

- 『スクリーンで観る高座・シネマ落語&ドキュメンタリー「映画 立川談志」』
- 『ホビット 思いがけない冒険』

新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

書籍

- 『童の心で 歌舞伎と脳科学』 小泉英明+市川團十郎 12世(著) 工作舎
- 『脚本中味のいろいろ 脚本が印刷されるまで』
- 『能のちから 生と死を見つめる祈りの芸能』 観世鍊之丞(著) 青草書房
- 『THE PEOPLE by KISHIN 篠山紀信写真力』 篠山紀信(写真) 読売新聞東京本社
- 『浄瑠璃を読もう』 橋本治(著) 新潮社
- 『ふくしまの芸能興行』 橋本今祐 歴史春秋出版
- 『水木洋子市民サポーター活動の記録11』 水木洋子市民サポーターの会
- 『溝口健二・全作品解説; 9 [巻]』 佐相勉(著) 近代文芸社
- 『Montage Sugunami '30~'60 映画にうつされた郊外』 杉並区立郷土博物館
- 『山田洋次と寅さんの世界 困難な時代を見ずえた希望の映画論』 吉村英夫(著) 大月書店

(新規登録資料案内 書籍 続き)

『WOWOW 20年史』		WOWOW
『私の歌舞伎遍歴 ある劇評家の告白』	渡辺保(著)	演劇出版社
『長倉稠道具帖作品集 平成の大和絵師』		日本舞踊社
『衣裳による歌舞伎の研究 歌舞伎衣裳の形成と庶民服飾との関わり』	森タミエ(著)	源流社
『グレート・メモリーズ 丸の内ピカデリー・丸の内松竹』		松竹・事業部
『日本新劇理念史 続明治中期篇 明治の演劇改良運動とその理念』	小櫃万津男(著)	未来社
『神奈川の東海道(下) 遥かな時代の道の賑わい』		神奈川東海道ルネッサンス推進協議会
『澤村田之助むかし語り 回想の昭和歌舞伎』	澤村田之助 6世(著)	雄山閣
『地歌・箏曲の世界 いま甦る初代富山清琴の芸談』	田中健次[等](編著)	勉誠出版
『山田洋次監督が選んだ日本の名作100本 家族編50本 ガイドブック』		キネマ旬報社
『河内国姥火』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集13)		玉川大学出版部
『記録曾我玉笄』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集14)		玉川大学出版部
『曾我錦几帳』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集15)		玉川大学出版部
『敵討御未刻太鼓』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集16)		玉川大学出版部
『南都十三鐘』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集17)		玉川大学出版部
『梅屋洪浮名色揚』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集18)		玉川大学出版部
『楠正成軍法実録』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集19)		玉川大学出版部
『源家七代集』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集20)		玉川大学出版部
『和泉国浮名溜池』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集21)		玉川大学出版部
『鎌倉比事青砥銭』(義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集22)		玉川大学出版部

他社演劇公演資料

国立劇場小劇場	11月	『日本雅楽會第51回、創立50周年記念 雅楽公演』プログラム 『舞の会 京阪の座敷舞』プログラム
	12月	『さんしょう太夫 説教節より 上の巻・下の巻』プログラム
国立劇場大劇場	12月	『鬼一法眼三略巻 清盛館・菊畑・檜垣・奥殿』プログラム、資料集 『第十一回伝統歌舞伎保存会研修発表会』プログラム
国立文楽劇場	11月	『第一二八回文楽公演』プログラム、床本
	12月	『師走浪曲名人会 浪曲忠臣蔵』プログラム
シアタークリエ	12月	『Chanson de 越路吹雪 ラストダンス』プログラム
日本橋三井ホール	12月	『THANATOS』プログラム
俳優座劇場	11月	『野がも』プログラム、台本
博品館劇場	11月	『若林圭子博品館リサイタルVol.10 どんな声で』プログラム 『嵯峨美子コンサート 青い空が見える』プログラム
本多劇場	11月	『バカのカベ フランス風』プログラム
三越劇場(日本橋)	11月	『無法松の一生』 『殺陣三番叟』プログラム、台本
ル テアトル銀座	11月	『とってもゴースト』プログラム

演劇雑誌

『あぜくら』平成24年12月号
『Confetti』2013年JANUARY Vol.97
『伝統文化新聞』2012年(79号)
『演劇界』2013年1月号、2月号
『悲劇喜劇』2013年1月号
『邦楽の友』平成25年1月号
『ほうおう』2013年2月号
『歌舞伎 研究と批評』2012年(48)
『喝采』2013年3月、3月特別号、4月
『近松研究所紀要』2012年(23号)

(新規登録資料案内 演劇雑誌 続き)

- 『日本芸術文化振興会ニュース』平成25年1月号
- 『日本照明家協会雑誌』2012年12月号
- 『日本舞踊』65巻1月号
- 『日本演劇興行協会会報』2012年(43号)
- 『大向う』平成24年12月号、平成25年1月号
- 『ラ・アルプ』2013年1月号
- 『シアターガイド』2013年2月号
- 『THE 昴』2012年12月No.25
- 『テアトロ』2012年12月臨時増刊号：俳優・タレント養成ガイド2013年度版、2013年1月号

映画雑誌

- 『ドラマ』2013年1月号
- 『映画テレビ技術』2013年1月号
- 『衛星劇場プログラムガイド』2013年1月号
- 『エキブ・ド・シネマ』2013年No.191
- 『キネマ旬報』2012年12月下旬号、2013年1月上旬号
- 『NFCニューズレター』2012年12月-2013年1月号
- 『日経エンタテインメント!』2013年1月号
- 『ピクトアップ』2013年2月号
- 『SCREEN』2013年2月号
- 『シナリオ』2013年2月号
- 『シナリオ教室』2013年1月号
- 『シネフェックス』2012年No.27

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2012年11~12月)

許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、衛星劇場、キネマ旬報社、映画論叢、邦楽の友社、新国立劇場情報センター、音楽座ミュージカル、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、国立劇場、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、東宝株式会社、関西・歌舞伎を愛する会、シアタークリエ、名取事務所、公益社団法人日本俳優協会、伝統文化新聞、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、丸善出版株式会社、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、一般社団法人日本民間放送連盟、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、日本近代文学館、博多座、岩波ホール、(株)近代映画社、(有)三月書房、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、劇団1980、三越劇場、新国立劇場、園田学園女子大学近松研究所、株式会社サンシャイン劇場、劇団山の手事情社、紀伊國屋ホール、株式会社 角川学芸出版

どうもありがとうございました

第29回所蔵資料展示 映画『お嬢さん乾杯』

展示期間：2013年1月10日～2013年1月30日 / 於 閲覧室
演劇・映画の専門図書館（公財）松竹大谷図書館

平成25年最初の展示は、1月2日より日本橋三越劇場新派公演で上演されている『お嬢さん乾杯』の原作映画、木下恵介監督の『お嬢さん乾杯』（1949年）の資料をご紹介します。

『お嬢さん乾杯』は、自動車修理工場で成功した男と、没落華族の令嬢とが見合をし、結婚を前提とした付き合いを続けるなか、身分や趣味の違いが浮き彫りにされてゆく様子を描いたラブコメディで、木下監督の本格的喜劇の第一歩となった作品です。

人の好い自動車工の新興成金を好演するのは佐野周二。その成金が「天女のような」と一目惚れする美しい令嬢には原節子が扮します。二人の魅力的かつコミカルな演技が、観る人を暖かい気持ちにする作品です。



『お嬢さん乾杯』台本（左は英文台本）

展示資料作品一覧

【スチール】 宣伝用の写真なので、実際の映画にはないシーンを含みます

石津圭三（佐野周二）、マダム（村瀬幸子） 気の進まない見合いの席になじみの「バー」を指定し、マダムを相手に昼食を食べながら相手を待つ圭三。作業帽をかぶり、足元は雨が降っていたのでゴム長靴。

石津圭三（佐野周二）、五郎（佐田啓二） 見合い相手の泰子に一目惚れし、自分のアパートに帰って呆然としている圭三を、歌ってからかう弟分の五郎。

五郎（佐田啓二）、石津圭三（佐野周二） 泰子から承諾の返事をもらい、浮かれてバイクを駆り出す圭三。

五郎（佐田啓二）、石津圭三（佐野周二）、マダム（村瀬幸子） 泰子の邸宅を初訪問した話をバーでマダム相手に語る圭三。五郎は恋人との交際を圭三に反対されしょんぼり。

池田泰子（原節子）、石津圭三（佐野周二）、町田（町田旬子） 泰子の誕生日に、ピアノをプレゼントした圭三。遊びに来ていた泰子の友人が演奏に合わせてバレエを披露。

池田泰子（原節子）、石津圭三（佐野周二） 詐欺事件の責任者として担がれ、刑務所に入所している父に面会した泰子を送る道すがら、幸せにする事を誓う圭三。

池田泰子（原節子）、石津圭三（佐野周二） アパートを訪ねてきた泰子が、婚約者が死んで燃え尽きた自分が、今は圭三の親切を心から喜んでいる事を語り、ギターを掻き鳴らしながらそれを聞く圭三。

マダム（村瀬幸子）、池田泰子（原節子）、五郎の恋人（佐藤成子）、五郎（佐田啓二） 別れを告げる圭三からの手紙を読み、バーに駆けつけた泰子は、マダムから圭三が田舎の母に会いに行ったと聞かされる。

【プレスシート】

【スクラップ・スチール】

石津圭三（佐野周二）、マダム（村瀬幸子） ほか 見合い相手の泰子から承諾の返事をもらい、バーでマダムや女給たちと乾杯する圭三。

マダム（村瀬幸子）、石津圭三（佐野周二）、佐藤（坂本武） 「バー」で内輪の婚礼会場の用意をしている。

母鶴代（東山千栄子）、祖父（青山杉作）、祖母（藤間房子） 婚礼の日、泰子を迎えにいった圭三は、自分と泰子の結婚を惨めに思う泰子の祖父母らの気持ちを察して去ろうとするが、慣れない正座に足がしびれていた。

佐藤（坂本武）、石津圭三（佐野周二）、五郎（佐田啓二） 圭三に見合いを勧める取引先の佐藤専務。学習院出のお嬢さんと聞いて「提灯に釣鐘」と、全く取り合おうとしない圭三。

【台本】 台本・梗概台本・GHQ検閲台本（梗概・英文）

【雑誌】 『松竹』 昭和24年3月号（撮影取材記事）

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2012（平成24）年12月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社衛星劇場

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

松竹映画劇場株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

財団法人 昭和池田記念財団

個人（50音順・敬称略）

小石川宏

永松宏之

浜口美由紀

どうもありがとうございます

お知らせ

一月号より「資料をご寄贈くださった方々」として、寄贈者のお名前を、許可を得た方々のみ掲載させていただきますこととなりました。今後、適時掲載いたします。

編集後記

明けましておめでとございます。寒い日々が続いていますが、松竹大谷図書館のスタッフは皆寒さに負けず、元気に働いております。

いよいよ第五期の歌舞伎座の正面玄関が現れてきました。赤く縁取られたガラスのドアも見ることができません。そしてとところどころに鳳凰の紋も。以前の歌舞伎座とほとんど同じ外観に見えるのですが、真っ白でピカピカな壁はいかにも新築という風情です。眺めながら、とうとう建て替わったんだな…としみじみ感じます。（あ）
スマホ生活2ヶ月。まだ新しい機能を偶然発見する日々です。最近何か分からないことがあると、画面を指で押さえてじつと待つとみると何かしら表示されることに気付き、ようやく写真をメールで送る方法を見つけました。（む）

利用案内

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、五月一日、十一月二十二日、年末年始、春期・夏期特別整理期間
その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内に掲示します。

入館料 無料
館内閲覧のみ

交通案内

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

